

東カリブ諸国機構（OECS）6か国月間情勢報告

（アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

（2023年12月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

12月の東カリブ諸国機構（OECS）6か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1 概況

- （アンティグア）下院は2024年度国家予算案を可決。なお、野党はボイコットしたと見られ、与党のみによる可決となった。
- （アンティグア）ブラウン首相は、2023年の経済成長率は8.1%になる見込みと発表。
- （ドミニカ）政府は、米オーマット・テクノロジーズ社及びその子会社と、ラウダットにおける10メガワットの地熱発電所の開発に関する協定に調印。
- （グレナダ）サステナブル・グレナディーン社は、カリアク及びプチ・マルティニーク問題・地方自治省とプチ・マルティニーク漁業協同組合と共同で、同国初の太陽光発電を利用した製氷施設を設立したと発表。
- （セントビンセント）ゴンザルベス財務相は、2023年の実質GDP成長率が6.2%になる見込みと発表。
- （セントキッツ）10.9億東カリブドル（約4億米ドル）の予算案が国会で可決。

2 内政

- （9日アンティグア報道）アンティグア公益事業庁は、2024年3月31日までに日量1,200万ガロンの飲料水を生産する目標を発表。
- （20日アンティグア報道）下院は2024年度国家予算案を可決。なお、野党はボイコットしたと見られ、与党のみによる可決となった。

3 経済

- （４日グレナダ報道）コーンウォール財務相は、２０２３年の政府予算より３億東カリブドル（約１．１億米ドル）増となる、総額約１６．５６億東カリブドル（約６．１億米ドル）の２０２４年予算案を発表。
- （５日グレナダ報道）コーンウォール財務相は、２０２３年１月より実施された未納税者に対する緩和措置により、総額２，３２０万東カリブドル（約８５３万米ドル）の未納税額が徴収されたと発表。
- （５日ドミニカ報道）政府は、米オーマット・テクノロジーズ社及びその子会社と、ラウダットにおける１０メガワットの地熱発電所の開発に関する協定に調印。
- （９日グレナダ報道）政府は、２０２４年１月１日より全労働者を対象に、最低賃金を月１，２００東カリブドル（４４１．１２米ドル）、または１日６０東カリブドル（２２．０６米ドル）に引き上げる旨を発表。従来同国では職種ごとに異なる最低賃金が設定されていたため、全労働者一律の最低賃金設定は初となる。
- （１３日アンティグア報道）日本の水インフラ企業WOTA社と環境省は、同国の水不足問題の解決に向け、同社の浄水システム「WOTA Box」の実証試験を実施。
- （１３日セントキッツ報道）ドリュー首相は、国会で２０２４年度の予算案を提出。更に、国内の農業及び海洋分野の発展に向け、今後同分野への投資や技術支援を拡大する意向である旨発表。
- （１５日アンティグア報道）ブラウン首相は、２０２３年の経済成長率は８．１％になる見込みと発表。
- （１６日セントキッツ報道）ドリュー首相兼財務相は、２０２４年度の予算案を提出。２，４６０万東カリブドル（約９０４万米ドル）の財政黒字が見込まれると発表。
- （１６日アンティグア報道）政府は２０２４年度予算案において、経常収入はGDP比１８．５％である１１．９億万東カリブドル（約４．３７億米ドル）と予測され、そのうち税収は１０億東カリブドル（３．６８億米ドル、GDP比１５．７％）、税外収入は１．７７億東カリブドル（約６，５００万米ドル、GDP比２．８％）を見込むと発表した。税外収入のうちの１．３億東カリブドル（約４，８００万米ドル）は、投資による市民権取得プログラム（CIP）による収入となることが見込まれている。
- （１９日グレナダ報道）サステナブル・グレナディーン社は、カリアク及びプチ・マルティニーク問題・地方自治省とプチ・マルティニーク漁業協同組合と共同で、同国初の太陽光発電を利用した製氷施設を設立したと発表。
- （１９日セントビンセント報道）ゴンザルベス財務相は、２０２３年の実質G

D P成長率が6. 2%になる見込みと発表。

●（19日セントビンセント報道）ゴンザルベス財務相は、2023年度予算より11. 8%増となる、約16. 17億東カリブドル（約5. 98億米ドル）の2024年度政府予算案を発表。

●（20日セントキッツ報道）10. 9億東カリブドル（約4億米ドル）の予算案が国会で可決。

●（26日セントビンセント報道）ゴンザルベス財務相は、2023年9月30日時点の公的債務は、前年比12. 8%増となる24. 44億東カリブドル（8. 99億米ドル）であったと発表。

4 外交

●（14日セントビンセント報道）ガイアナ・ベネズエラの国境問題に関し、アリ・ガイアナ大統領とマドゥーロ・ベネズエラ大統領は、カリコム、CELAC代表、及び国連事務次長の傍聴の下セントビンセントで会談し、11項目からなる合意文書「ガイアナとベネズエラの対話と平和のためのアーガイル共同宣言」を発表。互いに直接的・間接的な威嚇及び武力行使を行わないことに合意すると共に、両国の外相及び専門家から成る合同委員会を設置することに合意した。